

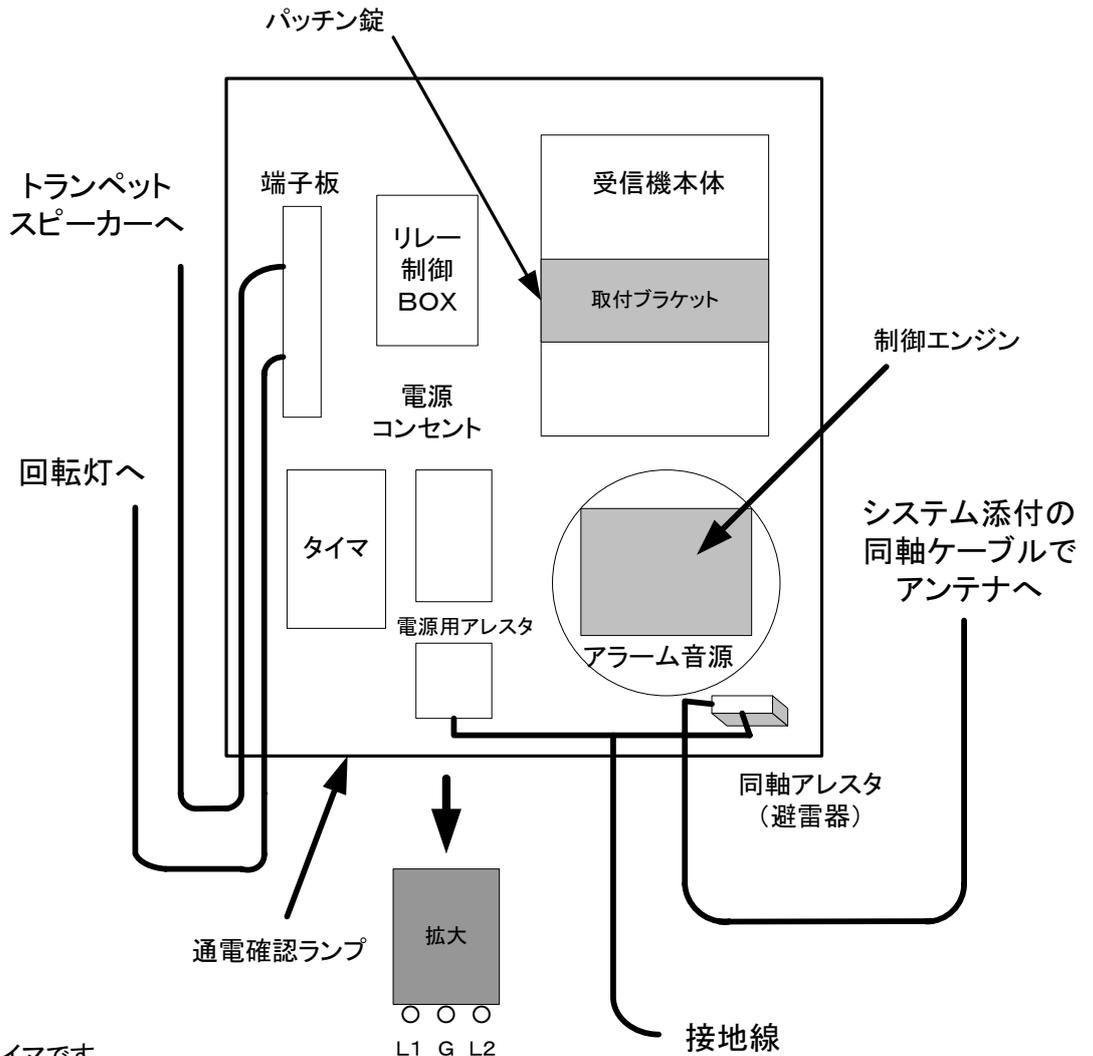
# 電気工事業者さまへ

## 設置場所の選択について

テレメトリ発信器から送信される弱い電波信号を受信して機能しますので、なるべくノイズ源から離れた場所への設置が望ましいです(なるべく受信感度を落とたくありません)

幹線道路・あるいは生活道路沿いであれば車のノイズ(特に2サイクルエンジン)が原因の問題が生じます

## サル接近警戒システム＝猿人善快＝ACモデルの配線



タイマの詳細

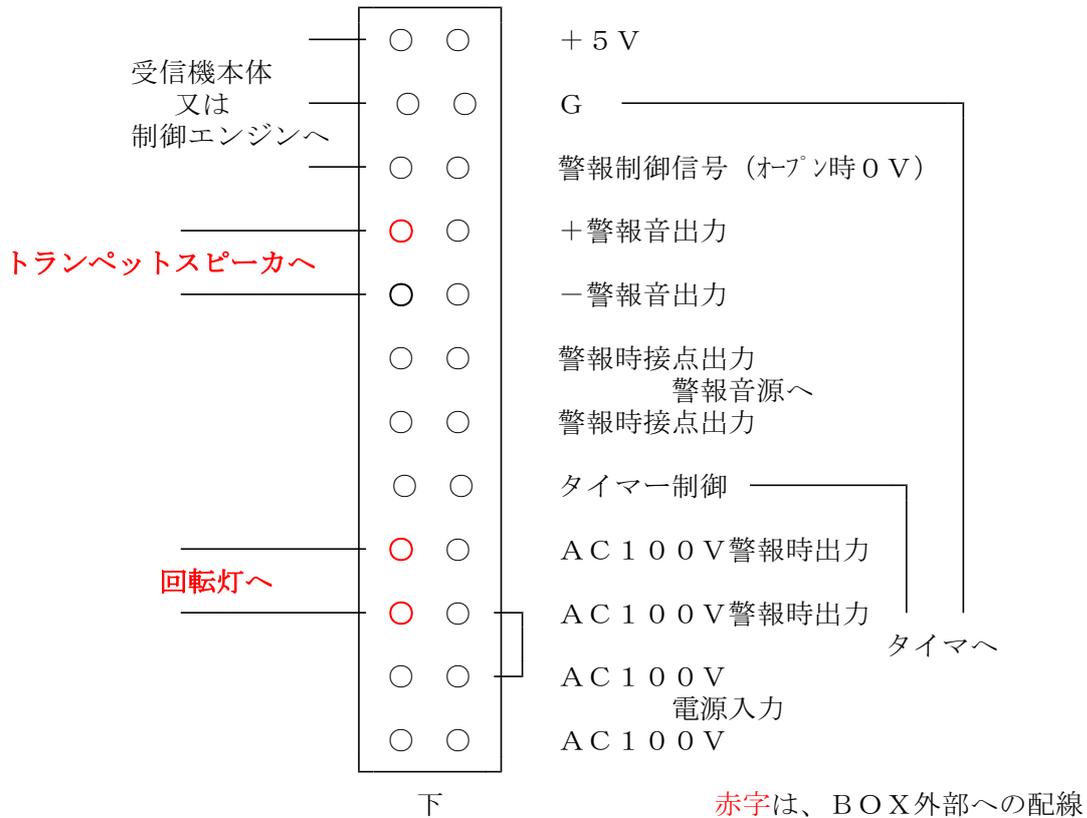
こちらは、アラーム制御用タイマです  
装置本体は、常時電源を入れた形で運用します  
**装置全体の電源を入り切りするタイマの使い方は厳禁です。**  
このタイマで、アラーム(警報音:回転灯)の必要な時間帯を設定します  
(例:06:00~17:00)  
Mail通知などは、この警報タイマの設定には影響されません

電源用アレスタ(避雷器)  
L1/L2へAC電源を供給します  
Gは、アース端子です

接地線  
電源アレスタ、及び同軸アレスタのアース端子からアース棒へ接続します

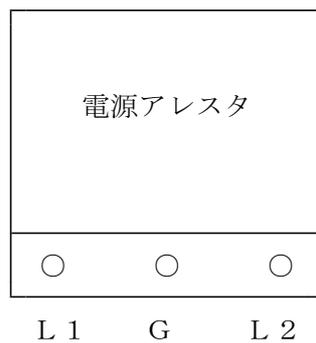
- ・BOXは、日東OP20-45です 支柱取付金具は、システムには付属しません(支柱で選んで下さい)
- ・アンテナ、及び回転灯には、φ60以下のパイプに取り付けできる金具を添付します(要:サブポール)
- ・トランペットスピーカーは、BOXか支柱にお客さまのご希望になる方向に向けて取り付けます(ビス止め、もしくはステンレスバンド等で)
- ・アースそのものは、φ10x900mm程度のアース棒を打ち込んでいただければOKです(草苳等に留意)
- ・BOXから外に出る配線は、上記の通りです(携帯電話網を利用する場合は、アンテナを内蔵します)
- ・定額契約の場合、装置の消費電力は60Wで申請手続きをお願いします

## 端子板結線図



φ 3.5 の圧着端子をご使用下さい。

商用電源 (AC 100 V) は、電源アレスタに接続し給電します。



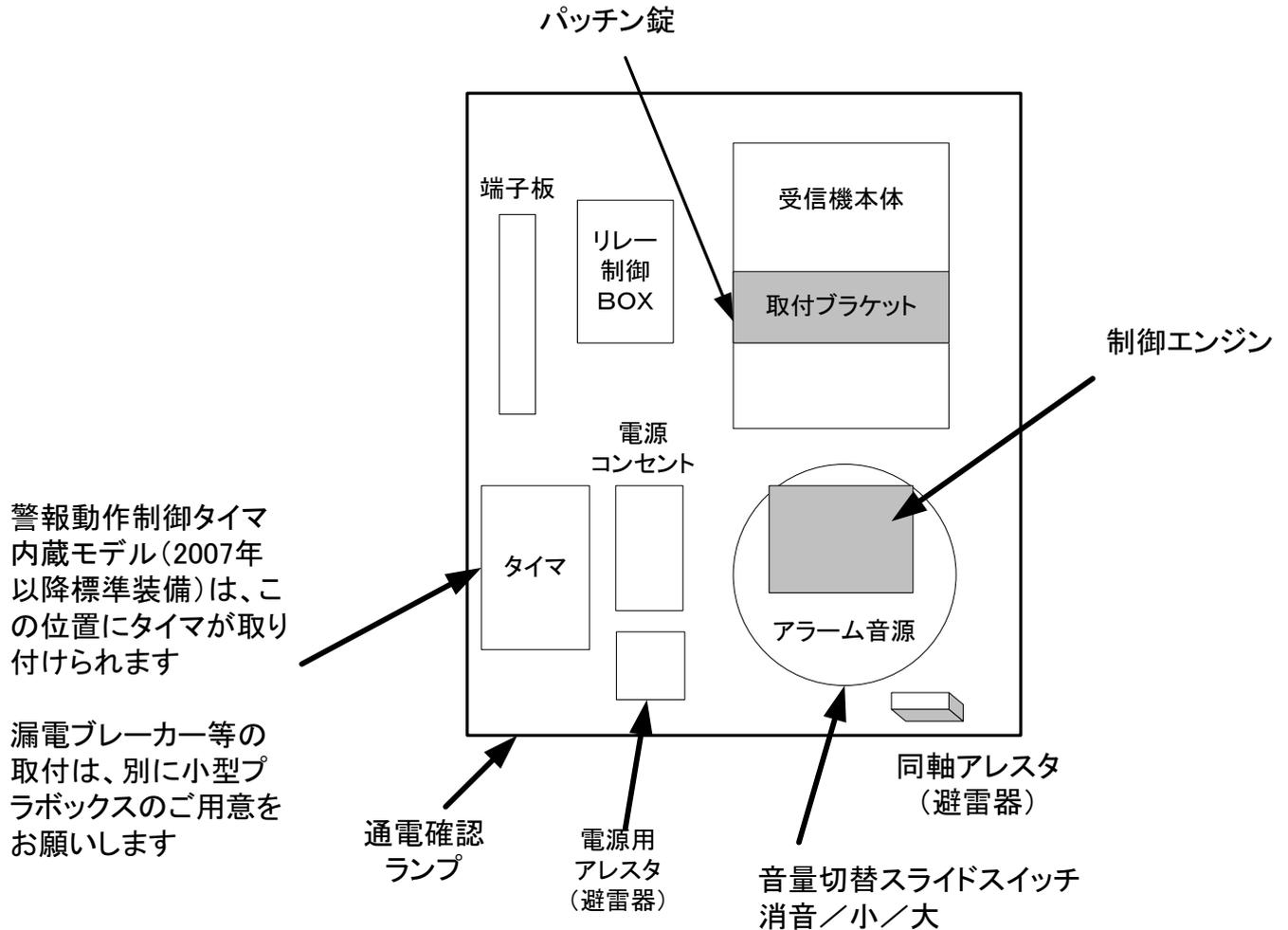
L 1 / L 2 に、AC 100 V を接続 / 給電して下さい。  
G は、接地用アース端子です。  
同軸用アレスタのアース端子と合わせ、アース棒に接続して下さい。

φ 4 の圧着端子をご使用下さい。

通電さえすれば、いきなり自動選局を開始、スタンバイ状態になるようにして出荷しております  
 制御エンジンは、LinuxPCに必要なプログラム、ハードウェアを追加したもので、接続あるいは電源  
 入り切りのタイミング等につきましては別紙でご確認下さい  
 受信機本体の設定方法などは、取扱説明書と合わせ受信機付属の説明書をご参照下さい

装置の構成を図化したものをご用意しました。

## サル接近警戒システム＝猿人善快＝ 商用電源モデル本体



### 外部への接続は、

1. 受信アンテナ  
同軸ケーブル(50Ω系)で、同軸アレスタへ接続します(M-J)
1. AC電源(商用電源)  
電源用アレスタの端子(L1/L2)に接続します
1. アース線  
電源用アレスタと、同軸アレスタにアース端子がついています  
この2つの端子を接地して下さい(900xφ10アース棒でOK)
1. トランペットスピーカー／回転灯  
端子板にあるそれぞれの指定位置に接続します  
トランペットスピーカーには極性がありますので注意して下さい



# サル接近警戒システム＝猿人善快＝ 施工についての補足／積雪150cm未満

## 1. 施工に含まれる諸材料（施工業者の方に用意いただくもの）

- ・ 鋼管柱 φ89 4～5m長（地中に1m埋設）
- ・ 同上用寝かせ
- ・ 同上鋼管柱に、日東OP20-45を取り付ける金具
- ・ サブポール（φ40程度）及び、メインポールへの取付具
- ・ アース棒（900～1000mm程度）

## 2. 配線に関わる諸材料

- ・ 商用電源の引き込みに必要な線材、及び漏電ブレーカー／収納ボックス
- ・ 1.25 x 2 VCT  
回転灯 ～ 装置本体間  
トランペットSP ～ 装置本体間
- ・ 1.6～2.0 IV線  
アース棒 ～ 装置本体間
- ・ 電線保護に必要なVP管、CD管および接続具  
上記配線以外に、アンテナ用同軸ケーブル（5D-2V／装置側で用意）が1本、アンテナから装置本体間を結びます。
- ・ 保護管類、およびトランペットSPを取り付けるステンレスバンド

## 3. 施工内容

φ89にサブポール（φ40程度）を抱かせた柱を建柱し、サブポールにアンテナ・回転灯を取り付け、適当な箇所（必要な方向に向くよう）にトランペットスピーカーを取り付け、OP20-45に収納された本体を取り付けます。  
受信アンテナ・回転灯は、φ30～60のサブポールに取り付け出来るよう金具類を添付しています。

### A. 鋼管柱の建柱

- ・ アンテナ組立／付属金具でサブポールに取付
- ・ 回転灯／付属金具に取付後、Uボルトでサブポールに取付
- ・ トランペットSPは、ステンレスバンドで取付（固定）
- ・ アース棒埋設（打ち込み）

装置接続箇所までの必要配線

### B. 装置本体の取付

OR20-45 の中に、＝猿人善快＝本体を収納

- ・ 本体（OP20-45）をφ89柱に固定して下さい。

### C. 商用電源の引き入れ

- ・ 商用電源の引き込みに際し、必要であればブレーカー／リミッタを内蔵するプラボックスを別途ご用意下さい。
- ・ 定額契約をなさる場合に必要と思われる装置の最大消費電力は、60Wです。

## 参考写真集(φ89商用電源型)



φ89支柱にφ40程度のサブポールを抱かせて建柱します  
アンテナ・回転灯はサブポールに取付(取付金具はシステムに添付)  
トランペットスピーカーは、必要な方向に向けて取り付けます



＝猿人善快＝本体は、OP20-45屋外用プラボックスに収納されています  
本体側に見える小型のプラボックスは、ブレーカー／リミッタを収納するためのものです



取付用サドル

配線保護  
塩ビ管など

猿人善快  
本体

電力会社より支  
給されるブレー  
カーを収納

トランペット  
スピーカー

配線保護  
P F管など



猿人善快本体

支柱取付金具

ステンレスバンドで  
取付(締め付け)





配線は、パイプを通し  
最後は、PF管などを  
使用して引き込みます

- ・電灯線
- ・アンテナ
- ・回転灯
- ・トランペットスピーカー

アース線の引き込み

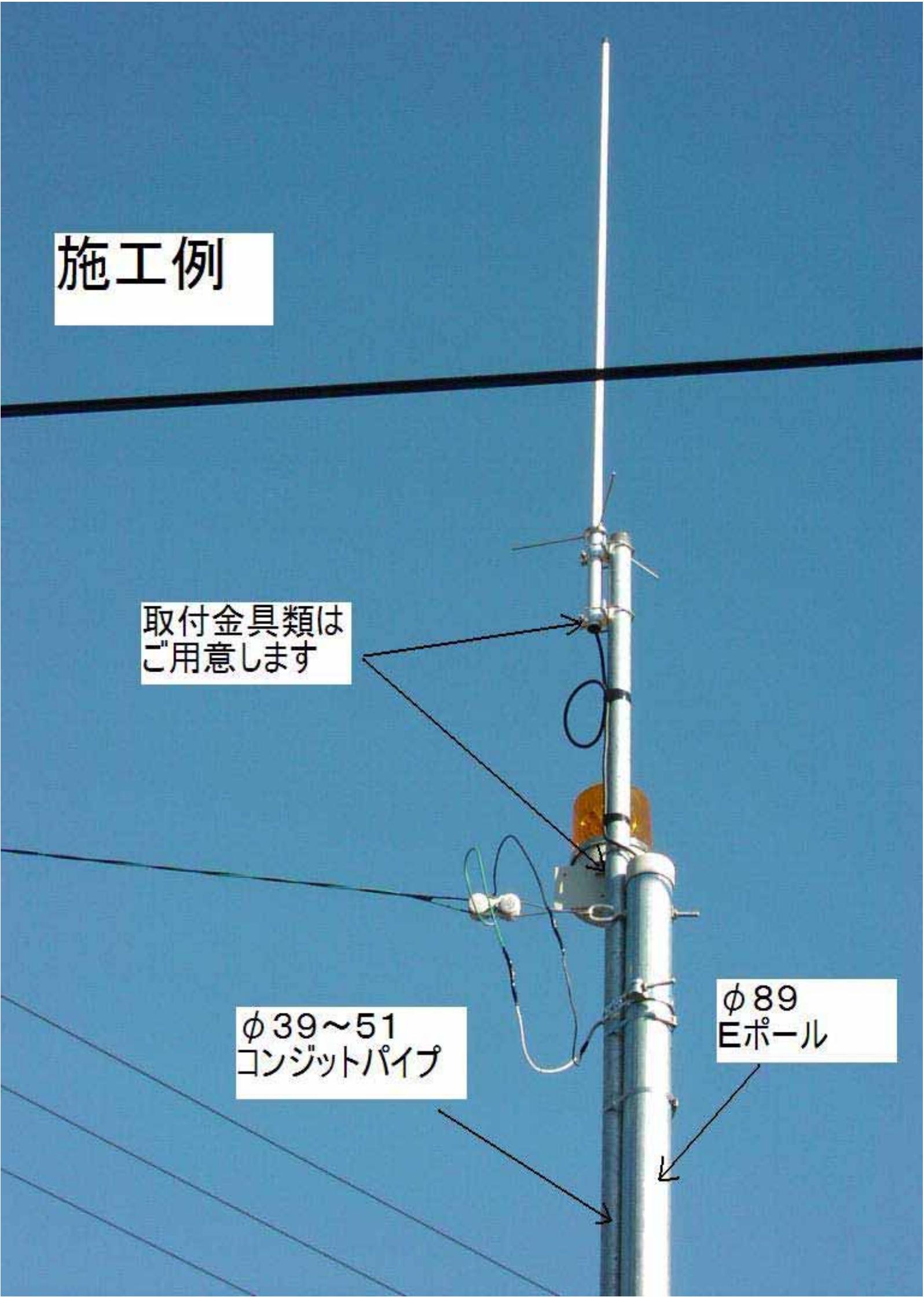
電流制限器を別付けする必  
要がある場合は、別途BOX  
が必要になるケースも(定額  
契約時など)

# 施工例

取付金具類は  
ご用意します

φ39~51  
コンジットパイプ

φ89  
Eポール



# 施工例

1. 積雪があり、設置場所が道路の雪捨て場所に近いため、本体底部をGLより1.5m以上の高さに
2. 道路上を電源引き込み線が渡るため、道路より5m以上の高さに、引き込み線が通るように



【猿人善快】本体は、日東の純正金具を使用して取付  
背面のプラボックスは、リミッタ/ブレーカー収納ボックス  
アース棒からのIV線は、草刈り作業で痛められないよう養生



降雪地域のためGLから、本体底部まで1500mm以上の高さをとって設置



88 6.3mメインポールに、51薄鋼電線管をサブポールとして抱かせて使用